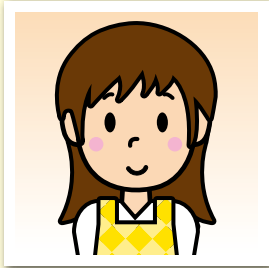
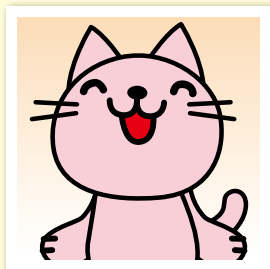


登場人物紹介



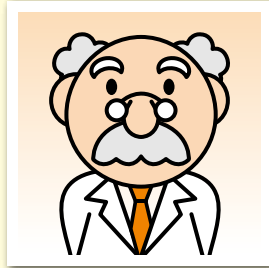
エミ先生

保育士。
放射線の疑問を
にゃん太くんや
アオイさんに
質問をするよ。



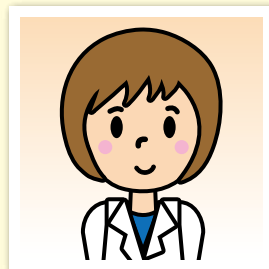
にゃん太くん

放射線の疑問に
答えるよ。



シゲじい

放射線の専門家。
地域の皆さんを
サポートするよ。



アオイさん

保健師。
にゃん太くんを
サポートするよ。



カスコさん

保育園に通う
子供のお母さん。

概要

この冊子は、保健福祉職員のための放射線便利帳のステップアップ編として作成しました。放射線便利帳同様に、平成24年度の福島県でのリハーサル研修会、平成25、26年度福島県保健福祉部子育て支援課主催の「ふくしま保育元気アップ緊急支援事業相談支援者育成研修会」に参加された福島県内の保育士の方々や地方自治体の方々、NPOで活動なさっているの方々など現場で頑張っておられる様々なの方々から力を頂き作成しています。

放射線便利帳と同様に、原子力災害後の対応で課題となるコミュニケーションの問題を取り上げています。

研修に参加された保育士の方々、準備下さった福島県の方々、協力下さった福島県立医大（放射線医学県民健康管理センター、放射線健康管理学講座、災害こころの医学講座、公衆衛生学講座、放射線医学講座）の方々、国立精神神経センターの金吉晴先生、長崎大学の堀口逸子先生、除染情報プラザの方々、市民科学研究室の上田昌文さん、福島県医師会小児科医会の市川陽子先生、菊池信太郎先生、国立成育医療研究センターの原田正平先生、福島県作業療法士会の岡本宏二先生、臨床心理士の成井香苗先生、ユーモアで専門家と会場の橋渡しをしていただいた半谷輝己さんに感謝申し上げます。

また、フォローアップ研修に参加いただいた日本放射線安全管理学会の皆様や研修会を傍聴して下さった皆様、研修の準備をサポート下さった本院のスタッフにも感謝申し上げます。

国立保健医療科学院 山口 一郎